

# クマ達の冬眠明け！

## 飼育員は見たべあ！

のぼりべつ  
クマ牧場通信  
94号

2025年  
4月1日

発行

のぼりべつ  
クマ牧場  
動物課



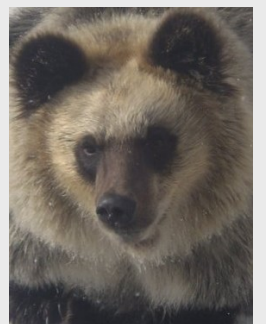
まだ少し眠そうなレガリア (30) =3月24日

3月に入り気温が高い日が増えてきて、冬ごもりしていたクマたちの動きが少しずつ活発になってきました。個体によって差はありますが、比較的若いクマが先に起き始めています。高齢個体は、起きているときもありませんが、まだまだぐっすり寝ているお寝坊さんもあります。

クマたちは冬ごもりの間、秋に蓄えた脂肪を使つて過ごします。冬ごもりの最中はずっと餌を食べないので、冬ごもり明けは餌の催促をする個体が多いです。しかし、いきなり大量に餌を与えてしまうと、胃腸を刺激して体調不良の原因になってしまいます。そのため、餌は少量から与えます。はじめ、様子を見ながら少しずつ量を増やしていきます。

また、冬ごもり明けからは毛替わりや繁殖期といった、見た目や行動に変化が出てくる時期となります。冬毛から夏毛に生えかわり、体がスリムに見えたり毛の色が変わったりと、冬ごもりの前後で印象が大きく変わる個体もあります。また、繁殖期になると匂いにとっても敏感になり、他のクマの匂いをとんでも気にするようになります。このように、クマたちは季節ごとに様々な変化がありますので、ご来場いただいたお客様にはクマたちの行動・見た目の変化にご注目いただけたらと思います。

きゅのくまさん



サラ (2)

母「ラツキー」譲りの薄い金色の毛が特徴のクマです。他のクマより少し短い足がチャームポイントです。性格はとても臆病です。

オヤツのもらい方も少しずつ上達してきており、第二牧場では一生懸命アピールする姿が見られます。現在は、年上の「エース」(5歳)と「ピリカ」(4歳)との同居練習を行っています。でも、サラはピリカに苦手意識を持っているようで、仲良くなるにはもう少し時間がかかりそうな印象です。一方、エースには心を許している様子が見受けられます。

季節の移り変わりと共に、クマ同士の相性が変化することもあるため、これからもピリカたちとの関係を温かく見守っていただければと思います。



飼育員の

Best Shot!

「ダラダラエフ」

＝撮影者 飼育員I

クシル、円山動物園へ

3月10日、札幌市円山動物園で飼育されているエゾリスと、クマ牧場で飼育しているエゾリス「クシル」の個体交換を行いました。これは、飼育下エゾリスの血統維持のための交換です。

クシルは、2017年に釧路市動物園で誕生し、翌年のぼりべつクマ牧場へとやってきました。私はリスの担当になつて4年目ですが、初めてクシルの飼育ケージに入った時はとても警戒され、果たして人に慣れてくれるのだろうかと不安でした。しかし、毎日の飼育作業を行っていくうちに、私の手からもヒマワリの種を食べてくれるようになり、体重測定もできるようになりました。

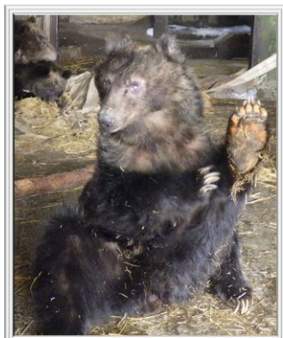


引越し前日のクシル  
=3月9日

今月の一挙

冬眠明け  
元気な姿

ホツとする



クシルは他の個体に比べると、とても警戒心の強いリスですが、手から種を食べてくれた時はすごく嬉しかった思い出があります。毎回扉の前で餌を待っていて、飼育員が展示場に入ると付いてくる所がとても可愛いらしかったです。円山動物園に行っても元気に過ごして欲しいと思います！

また、円山動物園から来たリスにはまだ名前がなかったので、エゾリスの「エゾ」と、円山動物園の「円(マル)」をとつて「エゾマル」と名付けました。現在は人や他のリスに慣れてもらうよう練習中です。公開の日を、どうぞお楽しみに！

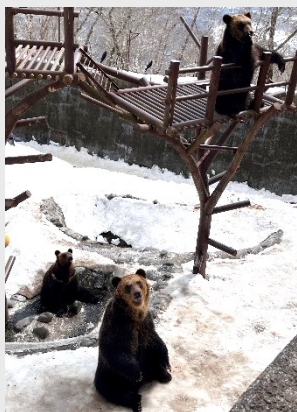


円山動物園へ移送される「クシル」  
=3月10日(仮)

第二牧場に若齢オス見参!

2月中旬、アレン(3歳)、キスケ・アクア(2歳)の3頭のオスグマが第二牧場にデビューしました！普段は第二牧場にはメスグマ達を展示していますが、今年は冬ごもりをする個体が多かったため、冬季限定で登場することになりました。アクア・キスケは昨年、同い年のメスグマ達と第二牧場に出たことがありましたが、アレンは子グマ牧場を卒業して以来、初めてお客様の前に姿を見せました。とても大きく育つたため、子グマ時代のアレンを覚えていらっしゃる方は、その成長ぶりに驚くかもしれません。3頭はお立ち台に登ったり、後ろ脚で立ち上がりたり、レスリングをしたりと、その姿は見ていて飽きるほどがありません。時々、奥の放飼場にいるクマ達にちょうかいを出しに行くことも…。第一牧場にいる大人のオスグマとは、体の大きさや行動の違いが一目瞭然です。

※第二牧場での若齢オスの展示は、3月下旬をもって終了しています。



おやつアピールをする  
アレンたち=3月11日

〇匿名希望様

Q 赤ちゃんグマが産まれたら、何か月くらいから、人間は近寄れなくなるのでしょうか？そもそも完全に間接飼育でしたっけ？

A 子グマは1〜3月に誕生します。クマ牧場では、4月下旬まで母グマが育てますが、その後は飼育員が母親に代わって世話をします。そして、12月中旬までは子グマ牧場で直接飼育(クマと同じ空間に入つて掃除や給餌などをする方法)し、1才になる前にバックヤードに移動して間接飼育(クマと人が同じ空間にいない飼育方法)に切り替えます。間接飼育になる頃には体重も50〜80kgほどに成長し、力も非常に強くなるので、もう一緒の空間には入れません。



直接飼育中の子グマ達の様子  
=昨年5月、子グマ牧場

